

# 十朋亭

命がけで駆け抜けた  
若き志士たちの息遣いが今も聴こえる

## 文久三年(1863)萩から山口へ

藩主毛利敬親は、萩では戦が長州藩全体に及んだ際に指揮するに不便であり、また外国艦船からの砲撃を受ける恐れがあるとして、藩府を萩から山口に移すことを決断しました。反対を懸念した敬親は「湯田温泉に湯治に行ってくる」と言い残して山口の御茶屋に入り、そのまま山口を藩府としました。山口の町では役所や役人の住まいが大量に必要となり、豪商、豪農の屋敷や離れが藩士の住まいとして転用されました。萬代家の離れ「十朋亭」もその一つです。

## 十朋亭とは

萬代家3代利兵衛が離れ座敷として建てたもので、幕末期には久坂玄瑞や高杉晋作、伊藤博文が宿泊したと伝わっています。昭和53年に山口市指定文化財となり、平成15年には萬代家から山口市に寄付され、一般公開を行っています。



## 萬代家とは

醤油業を家業として3代利兵衛の代に大いに栄え、5代利兵衛の時代に山口越荷方会所の(貿易品取り扱い所)頭取を務め、幕末の藩の資金集めに尽くしました。大変、面倒見が良く十朋亭で起居していた若い志士たちを親身になってお世話していたようです。

## さんぽメモ

十朋亭隣の建物は吉田松陰の兄・民治が塾を開いていたこともあったと伝わることから「伝杉私塾」と呼ばれています。



## 交通案内 Access



### 山口市へのアクセス



## 広域アクセス

- ・山陽自動車道山口ICから 車で約15分
- ・中国自動車道小郡ICから 車で約15分
- ・JR新山口駅から JR山口線で約25分
- ・山口宇部空港から タクシーで約50分  
または直通バスで約60分



徒歩	約15分
コミュニティバス	約10分 [登小路]下車
貸自転車	約10分

# や YAMA MA GU CHI OHI

# 維新さんぽ

6店舗で楽しめる  
久坂deカフェ



小説で巡る  
維新の本箱



きつとあした  
誰かに話したくなる



志士気分  
さあ出かけよう!  
維新deコスプレ



幕末、藩庁が移転した山口には  
維新ゆかりのスポットが目白押し。

歴史の主人公になって、  
お散歩にでかけませんか?



大通路ロビー  
083-920-9220

主催 山口市/NPO法人大通路小路まち・ひとづくりネットワーク  
問合せ 山口市大殿大路133-1(火曜定休)  
083-920-9221 info@ojilobby.jp http://ojilobby.jp

大通路ロビー やまぐち維新さんぽ